

ピックアップ



みんなで命を守る行動実践

地震・津波に備え総合防災訓練 地域と学校の連携確認

「津波防災の日」の11月5日、令和5年度の石巻市総合防災訓練が市内全域で行われ、市民が震度6強の地震や大津波から命を守る行動を実践しました。特に沿岸部では、住民が新たに全戸配布された津波ハザードマップを手に浸水想定区域外や高台の避難場所までのルートを確認していました。シェイクアウト訓練後には、地域ごとに自治会や自主防災組織による訓練が行われました。今回から初めて市立小中高50校全てを登校日とし、中学

生が避難所でリーダーを務めるなど地域と学校の連携を強くしました。このうち青葉中学校では、生徒と地元の町内会が初期消火訓練や即席の担架作りに取り組みました。また、釜小学校ではスマートフォンによる避難所受付が試験的に導入され、市民から使い勝手をよくするための意見を集めました。

☎ 危機対策課(内線4310)

渡波海水浴場ビーチクリーン

Sustainable(サステナブル:持続可能な)
Development(ディベロップメント:開発)
Goals(ゴールズ:目標)

SDGs(持続可能な開発目標)は、地球上に住む全ての人々が暮らしやすい社会を将来に引き継いでいくための世界共通の17の目標です。

海の豊かさを将来にわたり引き継いでいくSDGsの取り組みとして、令和5年10月29日に渡波海水浴場にてビーチクリーンを実施しました。今回は、石巻圏域SDGsパートナーである一般社団法人石巻海さくら様と連携して実施したもので、ベガルタ仙台様にもロゴ入りTシャツの提供など協力いただきました。

☎ SDGs移住定住推進課(内線4224)



当日は曇り空で少し肌寒い中、およそ90名の市民の皆さんや、市内企業、団体の方に参加いただきました。約3時間の清掃の間に、ビニール紐、空き缶、空き瓶、発泡スチロールなどで各自の持っているゴミ袋が満杯になり、120個以上になったほか、軽トラック1台分の粗大ゴミも回収することができました。参加者は「思った以上にゴミがあったがビーチがキレイになってとても良かった。」「機会があれば、また参加したい」と話していました。



【お詫びと訂正】

市報いしのみき令和5年12月号13ページ「SDGsアクション」のコーナーにおきまして、「株式会社武山興業様」および「株式会社エスディ佐藤電気様」の会社名に誤りがありました。深くお詫びして訂正いたします。

【正】株式会社武山興業
【誤】株式会社武山興行

【正】株式会社エスディ佐藤電気
【誤】株式会社エスディ佐藤電機



みんなのた場

サークル仲間 (146)

よつや粋生クラブ

カラオケ通して地域交流
歌声と笑顔で健康寿命延伸



よつや粋生クラブのみなさん

「よつや粋生クラブ」は、鹿又の四家会館で活動しているカラオケ愛好会です。地元の男女18人が入会しており、毎月第二、第三火曜日に集まって歌を楽しんでいます。講師を務めているのは、プロ歌手の西夕子さん。さまざまな歌謡曲をみんなで合唱し、会館には伸びやかな声が響きます。

クラブが誕生したのは平成25年。地域コミュニティの活性化を目的に、会長の岩淵愛子さんが四家町内会長の蜂谷勲さんと共に始めました。当時、町内行事にゲストで訪れていた西さんに声をかけ、皆で歌うカラオケ教室となりました。

現在の会員は男性が6人、女性が12人。67歳から84歳までおり、声を出すことで健康寿命の延伸につながっています。地域の情報交換や近況を報告し合う場でもあり、常に笑顔が絶えません。皆で歌うレパートリーは西夕子さんの「命の絆」や福田こうへいさん「天空の城」など、なんと100曲以上。歌詞を見ないで30曲を歌える人もいます。西さんは「声を出すのも筋肉の仕事。使っていないとすぐに衰えてしまいます。定期的に歌うことで心が鍛えられ、健康にもつながります。」と歌唱指導していました。



みんなで歌うことで交流を深め、地域の絆を深めています

選管だより vol.3

「三ない運動」を知っていますか？

年末年始はお歳暮やお年賀など、贈り物をする事や貰うことが多いシーズンですが、「三ない運動」という言葉を知っていますか？

政治家が選挙区内の人にお金や物を贈る事や、政治家に寄附や贈り物を求めることは、公職選挙法によって**禁止**されています。

きれいな政治、お金のかからない政治の実現や選挙の公正の確保を目指すためには、**贈らない、求めない、受け取らない**ことが大事です。

この3つを守って明るい選挙を実現しましょうという運動を、「三ない運動」と呼びます。

贈り物が禁止される対象例は下の図をご覧ください。



※政治家本人が結婚披露宴、葬式などに自ら出席してその場で行う場合など、一部は罰則適用外となる場合があります。詳しくは、選挙管理委員会事務局にお問い合わせください。



選挙管理委員会事務局(内線5823)

詳しくはこちら

石巻市立桜坂高等学校 桜坂だより 第42号

こんにちは、桜坂高等学校です。令和5年10月18日・19日の2日間、体育大会が行われました。今回は、その様子を紹介します。



全クラス対抗のバレーボール、バスケットボール、バドミントンに加え学年対抗のバーゲンセール(綱取り合戦)、クラス全員参加のリレーと障害物競走、ドッジボールの計7種目で熱戦が繰り広げられました。

プレーだけではなく、応援にも熱が入り、自分のクラスや学年を全力で応援する姿が見られました。



閉会式の実行委員長の挨拶では「クラスの結束力が強まった」と2日間を振り返っていました。

桃生 地元芸達者の晴れ舞台

14団体で4年ぶり芸能祭



桃生文化協会と桃生公民館で構成する実行委員会主催の「第43回桃生地区芸能祭」が令和5年12月3日、桃生公民館文化ホールで開かれました。コロナ禍の中止を挟んで4年ぶりの開催となり、同地区で活動する14の芸能・文化団体が出演しました。桃生中学校総合文化部吹奏楽班による軽快な演奏で幕が開くと、日本舞踊やスコップ三味線、マジックショー、はねこ踊りなど多彩な演目が次々と繰り広げられ、会場は盛り上がりを見せました。



石巻 児童の文字が橋名板に

3月開通「山下中里高架橋」

3月の完成を目指す都市計画道路「七窪蛇田線」の新しい橋の名前が、「山下中里高架橋」に決まりました。JR線を越えて山下、中里地区をつなぐ橋で、開通すれば石巻駅周辺の車の流れがより円滑になります。令和5年11月20日には、山下、中里の両小学校の児童が書いた文字を元にした橋名板の取付式があり、招かれた各6年生児童は舗装前の車道にチョークで絵やメッセージを描き込み、思い出も残しました。



牡鹿 着ぐるみ人形劇に感激

地区の子ども鑑賞

全国で着ぐるみ人形劇を上演している「劇団バク」の公演が、令和5年11月6日に鮎川小学校の体育館で行われました。「こんにちは人形劇」と題した東北電力主催の企画で、牡鹿地区保育所の子どもたちと鮎川小、大原小、奇磯小の1～3年の児童計26人が「泣いた赤鬼」を鑑賞しました。子どもらはコミカルな着ぐるみの動きを楽しみ、ちょっぴり切ない物語に感じ入っていました。



河北 パークゴルフで健康づくり

第6回大会に約30人参加

河北地区パークゴルフ大会が令和5年11月23日、同地区健康づくりパークで行われました。北上川と里山に囲まれた同パークは昨年6月にオープンし、大会は地元の愛好者らでつくる河北パークゴルフクラブが毎月開いています。6回目の大会には70～80代を中心にした約30人が参加し、3、4人ずつ2コースを2度回って成績を競いました。わきあいあいとしたプレーに天気も味方し、健康づくりと親ぼくを深めました。



河南 清掃登山で緑豊かな山に

第23回旭山クリーン作戦

第23回旭山クリーン作戦が令和5年11月12日、コロナ禍の中止を経て4年ぶりに行われました。北村小学校の児童やJAいしのまき、地元の住民が参加し、登山も兼ねながら、落ち葉を払って山頂の神社に続く参道をきれいになりました。新米のおにぎりが振る舞われたほか、野菜が当たるビンゴ大会もありました。



雄勝 ホタテ焼きやステージ満喫

おがっ縁日にぎわう

道の駅硯上の里おがっは令和5年11月23日、「おがっ縁日」を開き、名物のホタテを焼いて販売するなどして訪れた人をもてなしました。天気も良く、懐メロやアカペラのステージを視聴しながら屋外での食事を楽しむことができました。屋内では輪投げや射的、わたあめの販売コーナーがあり、家族連れでにぎわいました。硯上の里はほぼ毎月イベントを行っており、1月8日(月・祝)は年始にちなんだ企画を用意しています。



北上 プロ講師から技術伝授

太平洋写真学校北上教室

北上地区の風光明媚な景色の中で学ぶ「太平洋写真学校北上教室」が令和5年12月2日～3日に開かれました。地区内外から39人の写真愛好家が参加しました。講師には写真家の竹内正さん、井村淳さん、清水哲朗さんを迎え、北上川河口のヨシ原を舞台に写真撮影実習が開かれました。地域伝統の「女川法印神楽」も披露され、光の入り方やレンズの使い方、設定の方法などを教わりながら参加者が熱心にシャッターを切りました。終了後は追分温泉で一泊。2日目は朝日の撮影や作品の講評が行われ、それぞれがステップアップするためのアドバイスをプロから教わりました。最後は全員に修了証書が手渡されました。

